山梨県環境科学研究所

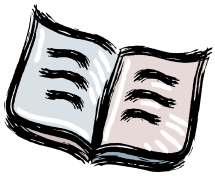
環境情報センターだより

№22　8月5日発行

「夏はイベント盛りだくさん！」

この夏、環境研では森のガイドウォークや動物写真展など自然を満喫するイベントがたくさんあります。環境を考える映画の上映なども行いますので、夏休みは環境研に遊びに来ませんか？

オススメ新着図書紹介！



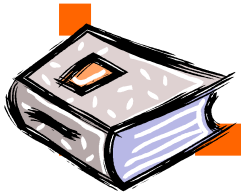
今回のオススメ本　田んぼで遊ぼう！
－にっぽんの里遊び入門－

里と生きものネットワーク　地球丸・出版

田んぼは生命の宝庫。カエルやオタマジャクシ、アメンボなど多くの生き物が棲んでいる場所です。この本は、そんな田んぼで遊ぶためのヒントがたくさん書かれています。また、笹船づくりなど昔ながらの懐かしい遊びや、田んぼに棲んでいる生き物の図鑑、さらには田んぼや里山の仕組みなどが載っているので、田んぼについての理解が深まります。

7月の新着図書

書名		著者
☆『青き星の欲望』	：	鈴木 孝夫
★『気候変動列島ウォッチ』	：	あん・まくどなるど
☆『世界の野菜を旅する』	：	玉村 豊男
★『鳥名源』	：	江副 水城
☆『昆虫の生態図鑑』	：	学研
★『世界の島大研究』	：	長嶋 俊介
☆『地球の水 SOS 図鑑』	：	田中 賢治



他にも多数

特設コーナー

シートン動物誌の世界

実施期間：8 月 1 日(日)～9 月 1 日(水)

2010 年は鋭い目で動物を捉えた物語『シートン動物誌』を生み出したアーネスト・T・シートン生誕 150 周年。それを記念して、今回の特設コーナーでは、数々の著作を遺したシートンに関連する本を展示します。

本棚から拝借

『シートン動物誌』全 12 巻

シートン・著　　紀伊国屋書店

『はじめて出会うシートン動物記』全 8 巻

アーネスト・トンプソン・シートン・著　フレーベル館

シートンの代表作である動物物語です。ただ感動的なだけではなく自然と人との関わり方を考えさせられます。

ここで紹介した本のほかにも、環境情報センターではシートンに関する本をたくさん所蔵しています。
お気軽にスタッフに声をかけてください。

本棚から拝借

『シートン-子どもに愛されたナチュラリスト-』

今泉吉晴・著　福音館書店

シートンの生涯を子どもにもわかりやすい文章で書いた本です。
シートンがどのような時代に生き、どんなことをしていたのかが豊富な図や写真で紹介されています。

只今開催中！

自由研究をサポートします

（実施期間：7 月 1 日(木)～8 月 29 日(金)）

もう自由研究のテーマは決まりましたか？
今年は自然や環境のことを調べてみませんか？
自由研究に役立つ本をたくさん集めました。

イベント盛りだくさん！

◇8月の環境研イベント案内◇

★動物写真展

富士山近隣に生息する動物を中心に展示する写真展です。動物に関するクイズもあり、子どもも大人も一緒に楽しめます。

開催期間：7 月 10 日(土)～9 月 5 日（日） 9：00～17：00 (最終入館：16：30)

場所：本館 1F ホール 申込不要

★もりのおはなしかい―えほんのよみきかせ―

幼児から小学校低学年を対象に、絵本の読み聞かせやゲームを通して本に親しんでもらい、自然や環境についての興味や関心を高めます。

日時：8 月 8 日(日) 〔毎月第 2 日曜日開催〕 10：30～、13：30～ (1 回約 30 分)

場所：環境研の森の中（雨天時は本館 3 階談話室で実施）

対象：幼児～小学校低学年 ※対象年齢外の方でも参加できます。 申込不要

★森のガイドウォーク

専門スタッフが解説しながら参加者と一緒に森を散策します。

日時：月曜日と 1 日、7 日、28 日以外は実施

1 日 5 回実施 10 時・11 時・13 時・14 時・15 時 1回約 50 分

場所：環境研の森の中(集合場所：本館内 1F 環境教育スタッフ室前) 申込不要

○富士山五合目植物観察会 ※好評につき、定員に達しました。来年をお楽しみに！

富士山の五合目～御中道を散策しながら植物の観察会を行います。

日時：8 月 7 日(土) 9：00～16：00

場所：富士山五合目御中道 (集合場所は環境研)

対象：県内在住・在勤の小学生～成人で山歩きのできる方(中学生以下は保護者同伴)

★やまなし地球環境映画会

国家を超えて絶滅危惧種のクロツラヘラサギの保護を行う様子を描いた『国境のない鳥』など環境をテーマにした映画を上映します。

共催：アース・ビジョン組織委員会

日時：8 月 14(土)、15 日(日)、21 日(土) 子どもの部 9：30～12：20 一般の部 13：10～16：14

場所：環境研 1F ホール 申込不要

※プログラムの詳細はお問い合わせ下さい

★富士山溶岩流観察会

胎内洞窟や、西湖コウモリ穴など各地を巡って富士山の溶岩流の観察会を行います。壮大な富士山の溶岩流のことを学んでみませんか？

日時：8 月 28 日(土) 9：00～16：40

場所：河口湖フィールドセンターなど各地 (集合場所は環境研)

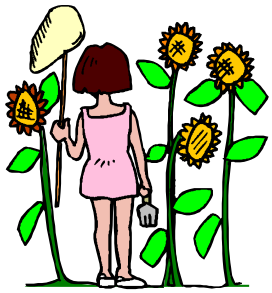
対象：県内在住・在勤の小学生～成人で山歩きのできる方(中学生以下は保護者同伴)

定員：40 名

受付：7 月 28 日（火）9：00 から電話または来所にて（定員になり次第締め切り）

一言では終わらない

環境研一言日記



病と気象の関係性？

8 月 1 日は、研究室公開を開催しました。アカマツ林エコツアーや、スズタケ細工体験、身近な食材を使った火山の実験など様々な企画が行われ、来場者を楽しませてくれました。

また、ネイチャーゲームを行う「子ども森を楽しむ会」も開催し、参加者たちにとって夏の良い思い出となったようです。

夏はキャンプや海水浴など様々な楽しみがありますが、日本の夏は湿度が高いため蒸し暑く、熱中症にかかりやすいので注意が必要です。また、光化学スモッグも発生しやすい季節ですので、注意報が出たときには屋外での活動を控えることも大切です。しかし、光化学スモッグは夏以外の季節にはあまり発生しません。冷房のかけすぎで起こる冷房病も、夏特有のものです。

実は病気は、季節や気象と関係しているものが多くあります。例えば低温、低湿度で活性化するインフルエンザは冬に流行しますが、高温多湿な夏にはほとんど見られません。逆に先に挙げた熱中症などは、気温が低い冬には発症しません。このように病気は周囲の環境に左右されますので、季節が変われば発生しやすい病気も変わるのです。

具体的にどの季節にどんな病気が発生するのかを知りたい場合は 『病は気象から』(村山貢司･著/実業之日本社)がおすすめです。この本は、季節と病気の関係だけではなく、病気の予防法なども載っているので実用書としても活用できます。季節に応じた体調管理をして、楽しく日々を過ごせるようにしましょう。

【編集後記】

環境情報センターだより№22 はいかがでしたでしょうか。今回の記事は田んぼで遊ぶ本を紹介したり、気象と病気についての本を紹介したりと野外活動にまつわる話題を中心にお届けしました。興味を持って頂ければ幸いです。№23 は 9 月 5 日発行予定です。次回もお楽しみに。(担当：オザワ)

お問い合わせ	
〒403-0005	山梨県富士吉田市上吉田字剣丸尾 5597-1
tel	0555-72-6202（環境情報センター）
Fax	0555-72-6204
HP	http://www.yies.pref.yamanashi.jp/
E-mail	jouhou@yies.pref.yamanashi.jp